

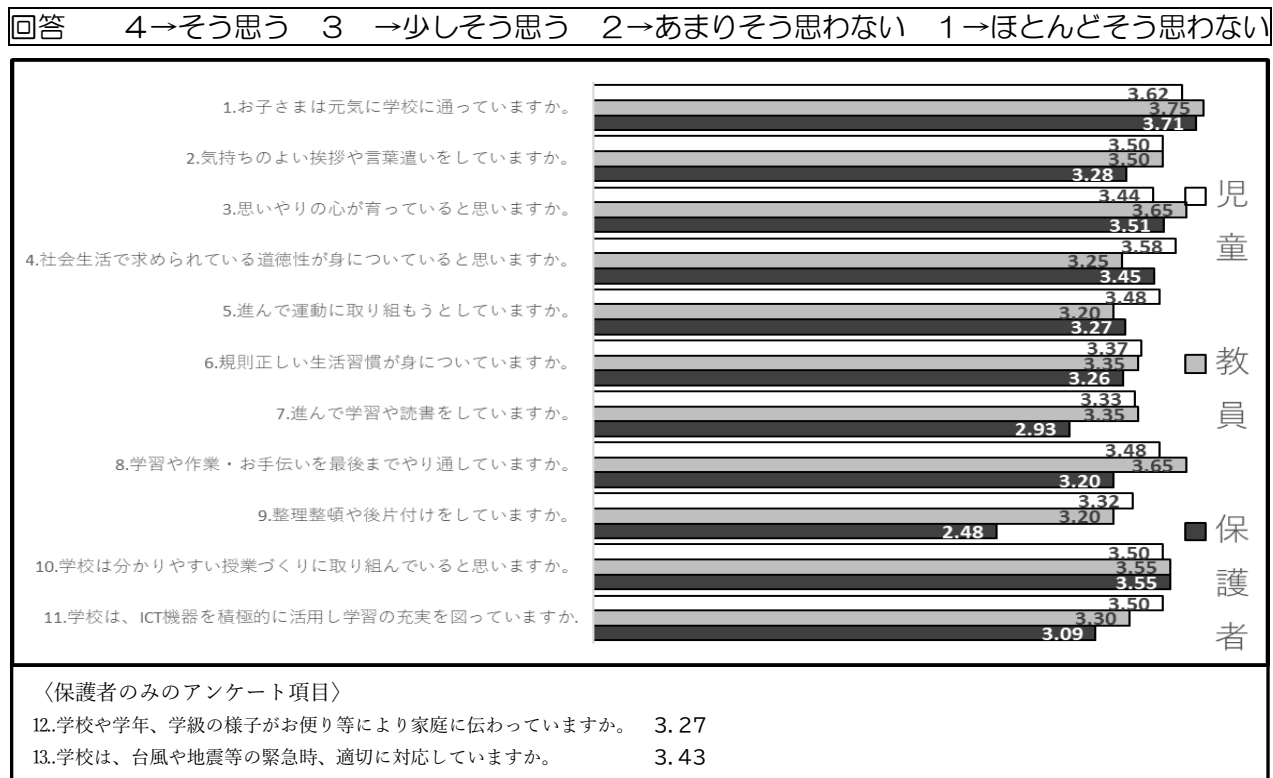
保護者 様

千葉市立都賀小学校
校長 小玉 理恵子

令和6年度 学校評価アンケートの結果について

日頃より、本校の教育活動にご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、11月に行いました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。児童・保護者・教員3者で同様の質問をしたうえ、ここ3年間の推移を見ながら、比較考察しております。学校ではこの結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に役立てていきたいと考えております。ご協力ありがとうございました。



「1. 元気に登校している」については、保護者・教員・児童ともに高い評価であり、保護者3年間の推移からも、全ての項目の中で最も高い評価となっています。しかし、児童自身の自己評価が保護者、教員に比べ、やや低いことから、大人には、見えていない部分があることがうかがえます。日々の様子に注視しながら、学校に来るのが楽しいと思えるような学級づくりを進められるように努めていきます。

「2. 挨拶や言葉遣い」の保護者評価に伸びがみられます。3年間の中で最も高い数値となりました。挨拶については、本年度の重点実践目標の一つでもあるので、今後も引き続き指導を継続し、校内だけでなく、地域の方にも気持ちのよい挨拶ができる児童を育てていきたいと思ひます。

「7. 進んで学習や読書」に関しては、昨年度保護者評価が低い項目でしたが、今年度大きく伸びています。課題の内容を工夫したり、家庭学習の取り組み方を例示したりすることで、家庭での学習への取組に改善が見られたと考えます。一方で、児童の評価は他の項目に比べて低くなっています。勉強や読書により楽しく取り組めるよう、授業の工夫や家庭との連携に努めていきます。

「9. 整理・整頓、後片付け」については、保護者評価の中で最も低い数値となりました。日頃の生活を見直す場を設定し、整理整頓や後片付けの必要性を考えさせることで、意識が高まるように指導していきます。

「10. 分かりやすい授業づくり」については、3者評価全てに高い評価が出ています。引き続き個に応じた指導の工夫や学ぶことの楽しさを感じられるような授業改善に努めていきます。

「11. ICT機器の積極的な活用」については、昨年度に比べて保護者評価が下がっています。ギガタブや大型テレビなどの使用は多くなっていますが、より効果的な活用ができるよう、職員の研修を充実させていきます。また、児童が主体的にICTを活用できるような授業改善にも取り組んでいきます。